

調査の目的等

荷主とトラック輸送状況の実態及び原因を都道府県ごとに明らかにし、今後の取引慣行の改善など、労働時間短縮のための対策検討に向けた基礎資料を収集することを目的に、厚生労働省、国土交通省が共同して実施

調査対象者

地方トラック協会(47協会)の会員事業者で各都道府県20社以上の事業者から100ドライバー分を回収
東京・愛知・大阪・北海道は30社以上の事業者から150ドライバー分の回収

調査対象期間

9月の1週間(9/14(月)～9/20(日)の7日間)分

調査内容

ドライバーに下記の各業務に掛かった時間等、1日の労働時間、業務内容について把握
併せて、トラック事業者の属性(保有車両数、ドライバー数、荷主企業との状況等)についても把握

- ①始業時刻、始業点呼、日常点検、乗務前点呼
- ②発荷主側での手待ち(対象荷主名、手待ちの内容)
- ③発荷主側での荷役(その作業の対象荷主名、荷役の内容及び方法(手荷役、フォーク等)、荷役に対する書面化及び料金収受の有無)
- ④運転時間(一般道路、高速道路(高速料金の支払いの有無)の別)
- ⑤着荷主側での手待ち(対象荷主名、手待ちの内容)
- ⑥着荷主側での荷役(その作業の対象荷主名、荷役の内容及び方法(手荷役、フォーク等)、荷役に対する書面化及び料金収受の有無)
- ⑦終業後の作業、乗務後点呼、終業時刻
等

調査回収状況

	事業者用			ドライバー用		
	目標	回収数	目標に対する回収率	目標	回収数	目標に対する回収率
全国	980	1,252	127.8%	4,900	5,609	114.5%
広島県	20	28	140.0%	100	134	134.0%
鳥取県	20	22	110.0%	100	112	112.0%
島根県	20	36	180.0%	100	131	131.0%
岡山県	20	30	150.0%	100	122	122.0%
山口県	20	21	105.0%	100	104	104.0%